

## 昆虫類等調査

### 1) 定量的調査

#### ①ピットフォールトラップによる地表性甲虫類調査

##### <方法>

プラスチックカップを調査地ごとに 20 個埋めて設置し、一昼夜おいた後回収し、得られた昆虫を分析する。ベイトには酢酸およびサナギ粉を用いる。時期は5月～10月の間に4回程度実施する



#### ② 大型土壌動物調査

##### <方法>

調査地ごとに1m×1mのコドラートを5ヶ所設定し表土を篩い、採取した土をさらにツルグレン装置に48時間かけ昆虫類を抽出し分析する。



### 2) 定性的調査

- ・ 定量的サンプリングでは見いだせない希少種や当地域に固有な昆虫を探索するために、見つけ取り、ビーティング法、スウィーピング法、ライトトラップ法などによりそれらの昆虫を探索する。
- ・ また、大台ヶ原の地域の特長や、東大台と西大台の特長の違いを把握することを目的に特定の分類群で調査を実施する。